

1年生保護者の皆様

5月10日PTA総会後の1年学年集会にご参加いただき、ありがとうございました。その際、アンケートにご協力いただきました。その中で「知りたい情報」についての自由記述でお寄せいただきました、いくつかの質問等に対して以下の通り、一部回答を準備させていただきました。【知りたい情報(Q)、それに対する回答(A)】

Q 文理選択で、本人は数学が大好きで当然理系でと言っていますが、進路選択において好きな科目という単純な理由で決めてしまっているものか。

Q 数学が得意というだけで理系にするのは大丈夫か。

A:好きな教科で文理を決定することは決して悪いことではありません。ただ、理系・文系について教育課程で見比べると、国語・数学・英語よりも地歴公民・理科において大きな違いがあります。理系を選ぶと地歴公民の授業数が、文系を選ぶと理科の授業数が少なくなります。こうした観点でもご家族で話してみてください。

また、進路選択については、1年生後半で希望する進路(学部など)が決まってくることは非常に望ましいですが、実態として早く決めることはなかなか難しいです。好きな科目を強みにして、理系・文系の選択をし、2年生でさらに学問の内容や具体的な研究内容などを調べつつ進路を決めていく手もあると思います。

ところで得意科目の数学についてですが、理系でも文系でも2年生までは同時数程度の数学の授業があります。2年生後半から3年生で、学ぶ内容などが理系・文系で異なってきます。文系から進路選択することが多い経済学部などは進学後に数学の知識が必要になってくるためです。数学が得意で、文系学部(法学、文学、国際)への進路選択を考える可能性が低いのであれば、理系選択が良いと考えます。また、令和7年度入学生の教育課程(現1年生)は令和6年度入学生(現2年生)とは変更されており、いわゆる文転は困難なカリキュラムとなっています。この点ご注意ください。

Q 一年生の行事などのスケジュールや取り組んでいくことを知りたい。

A:行事といわれると一般的に学校行事を指します。以下に1年生に関連する主な学校行事を記載します。これ以外のいろいろなプログラムにつきましては、都度都度、全校に対してアナウンスしていきます。詳しくは学校ホームページをご覧ください。

- 7月 隠岐研修（1泊2日 希望者）
1学期球技大会
- 9月 東雲祭（学園祭）合唱コンクール
島根大学・島根県立大学訪問（全員） ※どちらかの大学選択
- 10月 遠足
- 12月 2学期球技大会

Q 私立大学入試状況について東高卒業生の状況等を聞きたい。

A：東高ホームページ「進路情報」に過去の実績を掲載しています。ご覧ください。

Q 本人に向いている事は何か、その探し方などもっと知りたい。

Q 文理選択に際し、何を考えれば良いのか知りたい。

A：自分に何が向いているのかを、すでに見つけている1年生はそう多くないと思います。また、探してすぐに見つけることができるものでもないと考えます。これからじっくりと時間をかけて見つけていくことになるでしょう。例えば、担任との面談やご家庭での会話の中で見つけていくこともよくあります。東高としても考えるきっかけとして1年生の7月～11月にかけていくつかの機会を設けています。島根大学・島根県立大学訪問など、大学での学びに触れたり、そこでの説明や体験の中で興味を引く学問や学部に出会うこともあると思います。また、東京研修旅行での体験や、社会人からの話を聞くことで興味が高まったり、時には、近くにいる教科担当の先生や部活動の顧問、さらには地域の方や先輩などから考える上でのヒントをもらえるかもしれません。大切なことは自分自身で興味のアンテナを張っておくことではないかと思っています。

次のように考えていく方法もあります。

1. 将来興味を持っている職業はなにか
 2. 大学等で学びたい学問はなにか（就職に関係なくても良い）
 3. （国語・英語・地歴）と（数学・理科）のグループで、好きな学びはどちらか
- また、本校から「進路の手引き」を作成していますので、参考にしてください。

Q 文系・理系の選択により、その先、行ける学部がどこなのか知りたい。

例えば、島根大学ではどうなるのか。

A：ここ数年で多くの呼び名の学部が増えております。ここですべてを挙げることはできませんが、大まかなところでは次のようになります。

文系：法学部 文学部 経済学部 教育学部 医学部看護

理系：理学部 工学部 農学部 教育学部 医学部（医・保健・看護）

本人が興味を持たれている学問や学部があれば、事前に担任までご相談ください。一緒に考えたいと思います。

島根大学では、理学部・工学部は「総合理工学部や材料エネルギー学部」、農学部・理学部生物学科は「生物資源学部」、法学部・文学部は「法文学部」に当たります。人間科学部は文系の分野にあたります。

Q 学校の定期テストの大学入試における位置づけを知りたい。

A：定期試験は高校での成績・評価を出すための1つの観点（主として学んだ力が身につけているかを観る）であり、定期試験のほか、思考力・表現力・判断力や意欲・態度などにより総合的に評価し、高校の成績とします。一方で、大学入試においては、特色選抜や一般選抜など色々な入試形態がありますが、一般的には大学入学共通テストを受験して前期・後期試験に向かうケースが主流です。この大学入学共通テストは高校3年間で学んだすべての内容を踏まえて思考力・表現力・判断力を測る問題が出題されます。特色選抜では、高校時代の評価（評定平均値）を出願条件にする場合も多いです。

つまり、東高の定期試験で8割以上の得点を常に目指して学習してほしいと思います。これが達成できれば、評定平均値でも条件は十分になると見込めますし、高校の学習内容の基礎力が着き、大学入試共通テストでの問題にも対応できる力がつくと考えています。

Q なかなか難しいと思うが、東高卒業生で大学→就職先までわかるようなデータがあると就職までの先行きの参考となる。

A：ご指摘の通り、個人情報でもあり、進学後の状況を把握することも、それを今後の生徒保護者の参考にするのも難しいと考えます。

Q 家庭学習の進め方などについて知りたい。

A：家庭学習の主なものは、予習と復習があります。まずは、予習中心の学力で、学力を高めることをお勧めします。次の授業で行われる内容をあらかじめ確認し、事前に教科書を読んだり問題を解くことで理解しにくい点や疑問点を見つけておくと、授業においてスムーズに理解できるようになります。また、まだ習っていない内容を自ら取り組むことは、思考力の育成にもつながります。一方で、苦手な教科については復習中心の学習方法が良いと考えます。授業を受けたその日に復習し、着実に定着を図ります。

いずれにしても、普段の授業が定期試験に向けた対策につながり、定期試験できちんと学んだ力が身につけているかを確認していくことが大切な学習方法です。

Q 看護にすすむために有力な情報があったら教えてほしい。

A：看護体験の申し込みを行ってください。年に数回申し込みの案内が出ます。希望が多い時は3年生から優先的に選ばれます。3年生になれば、体験したい病院で必ず実習体験ができるとは限りませんので、1年生のときから機会を逃さず積極的に申し込みを行ってください。

Q どのくらいの成績で、どのくらいのレベルの大学にいけるのか。

A：目標とする大学等が見つかった際に、十分挑戦できる学力が身につけていることが理想です。そのためには、3年生の秋の段階で全国偏差値50以上であることを目標として、1，2年生の時から、授業を中心に基礎学力をつけることが重要となります。

国公立大学については、最終的に「大学共通テストの得点率」と「個別試験の2次科目の偏差値」を使って、ある程度絞っていくこととなります。

Q 自衛隊や海上保安庁等の情報が知りたい。

A：毎年、自衛隊・海上保安庁等から進路指導室に説明に来られます。

東高では、年2回、保護者面談を計画しております。面談の案内がありましたら事前に担任まで、このことについて情報が欲しい旨、ご連絡いただければ資料など準備します。お気軽にお知らせください。

Q 9月大学説明会の参加可否等ラクメで通知してほしい。期限が過ぎてから知ることが多い(英検等)。可能でしょうか？

Q 島根大学の教師塾関係のような体験、見学の情報は子供で情報が止まらないようにRAMUME などでの配信はできないでしょうか。学校と家庭が日常的につながっているといいなと思いますので、RAKUME からもっと情報がながれてくるといいなと感じています。

A：ラクメの使用についてですが、すべての情報をここで配信いたしますと、大切な情報が埋もれる可能性があり、極めて重要な内容のみをラクメでお伝えしております。

学校ホームページにおいて、生徒に案内したものが保護者の皆様にも伝わるように載せていきたいと思いますのでご確認ください。また、先々(来年度以降)には classi の活用も考えてまいります。

Q 一般入試、学校推薦、総合選抜の選択がまだ分かりづらく、具体例や具体的情報があると理解につながると思います。

Q 進路ははじめてのことなのでいろいろ知りたい。

A：大学入試の流れは非常に複雑です。特に独自に入試を設計できる私立大学の入試方法は多岐に渡っています。まずは、本校の「進路の手引き」をご参考にしてください。今後、具体的な例を用いて説明する機会も予定してまいります。

1年生に対しては、まずは文理選択に必要な情報を中心にして、進路研究をしていただきます。もちろん大まかな入試制度についても情報提供します。3学期あたりから、本格的に、入試制度の具体について段階的に説明したいと計画しています。